



ブラジリアの風



2020年もよろしく お願い申し上げます

「主が家を建てるのでなければ」詩篇127

主の守りと平安のうちに新年を迎えることができ感謝いたします。昨年2019年は皆さまからの尊いお祈りとお献げものによってブラジル宣教が支えられたことを心から感謝申し上げます。本年も何卒熱いご支援をよろしくお願い申し上げます。

さて、2019年12月半ばから約1ヶ月間、日本に短期宣教旅行に出かけた10名のミッショントリップのメンバーたちは、同盟教団諸教会の温かいおもてなしと交わりを体験し、世界宣教を肌で感じたことでしょう。グローバルの時代にふさわしく、このような海を越えた兄弟姉妹の交わりと宣教協力が継続することを願っています。

ブラジリアでは安井主任牧師が不在の中、私が諸礼拝の大切な説教奉仕をさせていただきました。クリスマス礼拝には120名ほどが集い、特にトロンボーンのカルテット演奏（四重奏）に心が震えました。聖歌「しずかに待てわがたまよ」の演奏に十字架を忍ばれた主イエスを想い、自分の十字架を負って従う決意を新たにしました。計らずも私が語ったメッセージも「十字架に向かうために」誕生なさった御子を強調するものでした。

元旦礼拝では、通常の通訳者が全員不在の中、急遽長男マリオに通訳をお願いしましたが、落ち着いて私の日本語説教をポルトガル語に通訳してくれました。冒頭の詩篇127篇から「主が家を建てるのでなければ」どんな働きもむなしとの主の御声を聞き、主が2020年の歩みの中心にお立ちくださり、個々人の生活や各家庭、また教会を建てあげてくださるようにと祈りを合わせました。



元旦礼拝後に



心からの感謝と祈りのお願い

・訪問伝道している日系一世やその家族が諸集會に集うようになっていきます。日本語学校の生徒の中からも教会に導かれています。一人ひとりが救いに与り、キリストの教会に接ぎ木され、永遠のいのちに活かされるようにお祈りください。

・今年創立60周年を迎えるブラジリア教会がさらに主のみこころにかなって整えられ、人々の救いのために用いられるように。主任牧師の安井牧師夫妻（トシ先生と弘子先生）の健康と働きの祝福を。

・妻の手術（子宮ポリープ摘出手術を1月中旬以降に予定）と健康のため。2月から日本語教師の働きも再開する予定。四人の子どもたちの学業と信仰のため。

日本で祈り支えてくださっている主にある兄弟姉妹、先生方、諸教会の祝福を心から祈り、主と皆さまに感謝をおさげします。生けるまことの主がこの一年の歩みの中心にいてくださり私たちの働きと生活すべてを建てあげてくださいますように。

2020.1.3 浜田献、陽子

「浜田宣教師指定」 献金者一覧(2019年10-12月)

松戸福音教会、新船橋キリスト教会、相馬キリスト福音教会、播磨キリスト教会、浜田良夫くずは聖書教会、矢作キリスト教会、安城中央キリスト教会、蛭池聖書教会、総和キリスト教会、石神井福音教会、光の森聖書教会、愛宕山教会、知立キリスト教会、生駒めぐみ教会、鞭木由行、招待キリスト教会、衣笠中央キリスト教会、竹内豪里子、豊橋キリスト教会、平出朋美、新津福音キリスト教会、松原聖書教会、恋が窪キリスト教会、千葉キリスト教会、今田和子、葉山のぞみ（敬称略）

(10-12月合計) 590,850 円
年間合計 1,381,352 円
【達成率86% 目標:160万円】